

'82
Summer



ふるさと

昭和57年 7 月

●編集・発行

柏市増尾近隣センター運営委員会・広報部

増尾近隣センター

〒277 柏市増尾1614番 ☎ (74)7211

No. 5

センター開館一年目を迎える 一段と活発にセンター活動

去る四月十七・十八日の両日、開館一周年を記念しての行事が盛大に行なわれ、参加者も一年間の成果を記念として作品の展示があり、体育館では、部員の熱戦がくりひろげられました。また五月二十二日運営協議会が開催され、昭和56年度の決算、57年度の予算等の審議があり、この席上で役員改選が行われ、協議会長、運営委員長とも再選されました。

開館二年目を迎えるさとづくりの拠点としてご利用願いたい

協議会長 吉田好一

地域の皆さんの多くの方々のご参加をいただき、開館一周年記念式典と、運営委員会各専門部の部長の方々の一年間の活動の成果を披露。当センターの特色を生かした記念行事が、盛況裡に行なわれました。これは、皆さまと共に喜びに堪えません。

一周年記念式典で挨拶する協議会長



可決されこれに基づきまして、本年度の事業が推進されることになりました。

五十七年度は開館二年目に当りますので、運営委員会の方々はじめ、各専門部の部長・ならびに各役員の方々のご苦労は大変なものがあるかと存じますが、一周年の業績を踏まえて更に一層の努力をお願い申し上げます。

さとづくりは、市と運営協議会と地域の皆さんとの協調によつて実を結ぶものと考えます。本年も昨年に倍しましてこのセンターがさとづくりの拠点として利用されることを期待します。心のふれ合いを大切にしたい血の通うさとづくりを

運営委員長 吉田 稔

地域における住民相互の交流と活動を通じて、心豊かなさとづくりを進めると共に近隣センターの効率的な運営を図るために組織された運営委員会も、近隣センターの開館と共に事業計画に基づき、各専門部長の努力により、体育館に於いては、バレーボール、卓球、美体、バトミントンの各部門が組織され団体利用、個人利用の体育館利用区分帯によつて、効率的な利用がなされております。

尚これ等の部門におきましては、球技祭をはじめ、各部門毎に大会を開催し、平素の練習の成果の競いあいとふれ合いと親睦を通じて血の通ったさとづくりに貢献いたしております。

文化部におきましても講演会、囲碁将棋大会、料理教室をはじめ七つの講座を開催すると共に、文化祭等を通じて広く地域の文化向上に努力いたしております。

福祉部におきましては敬老会、ふれ合いの集いに協力する事を始めとし、芸能大会、ゲートボール大会等を開催、老人福祉の増進のために役立っていただきたいと思います。

広報部におきましては、広報「ふるさと」の発行等を通じて皆さまにより一層親しまれるよう努力しております。

四月十八日には開館一周年を記念し、文化部におきましては、講座の成果の作品展を、体育館におきましては各部門別による模範演技の披露、福祉部におきましては、体育館わきの運動広場の完成を祝して、老人クラブによるゲートボール大会を開催いたし、開館一周年記念行事が盛況裡に行なうことが出来たことは、地域の皆さまの協力の賜と深く感謝申し上げます。

こうして一年間の利用者は四万余名にのぼりました。

本年は開館二年目に当りますので、組織づくりから、皆様に喜ばれ、愛される近隣センターの運営のために運営委員一同努力いたす所存でございます。

このセンターが心のふれ合いの場、よりよいさとづくりの場となるよう切望いたします。



チームワークでおいしい料理

踊りの輪からふれ合いの輪へ



昭和56年度 決算

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
市補助金	250,000	運 営 費	255,521
事 務 費	1,000,000	事 業 費	1,290,242
事 業 費	1,050,000	人 件 費	1,049,992
広報活動費	250,000	一周年記念行事費	113,400
その他収入	214,959	繰 越 金	55,804
合 計	2,764,959	合 計	2,764,959

昭和57年度 事業計画と収支予算

事業名	時 期	予 算 額	担 当 部
芸能大会 ゲートボール大会 他、敬老会、ふれ 合いの集いに協力	3 月 11 月	100,000	福 祉 部
文化祭 囲碁将棋大会 講演 演 座 各種 講 座	10 月 1 月 2 月 通 年	400,000	文 化 部
春季部内大会 球技 技 術 講 習 会	5-6 月 10 月 11 月	400,000	保健体育部
ふるさと発行 速 報 発 行	7 月 号 正 月 号 随 時	350,000	広 報 部

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
市補助金	250,000	運 営 費	250,000
事 務 費	1,000,000	事 業 費	1,250,000
事 業 費	1,650,000	人 件 費	1,650,000
広報活動費	250,000	子 備 費	55,804
56年度繰越金	55,804		
合 計	3,205,804	合 計	3,205,804

増尾近隣センター使用時間区分帯

区 分	体 育 館				本 館		
時間	9:00~12:00	12:00~15:00	15:00~18:00	18:00~21:00	9:00~12:30	12:30~17:00	17:00~21:00
曜日							
火曜日			個 人	個 人	団 体 (各種サークル活動)		
水曜日			個 人	個 人			
木曜日			個 人	個 人			
金曜日			個 人	個 人			
土曜日			個 人	個 人			
日曜日	個 人 (第4日曜日は休館)	個 人	個 人	個 人			

センター行事も盛り沢山に

ふれあいもより大きく

センターがオープンして一年がたち、その間開館記念行事をはじめ、文化部での各種講座、体育館ではスポーツ教室、また福祉部での芸能大会、あるいは文化祭、球技祭等皆様の交流と活動の場がつけられてまいりました。また体育館脇に運動広場が完成しましたので、より一層充実した事業が展開される予定です。

体育館

すでに、二案内のように体育館門では、昨年9月からクラブ活動として体育館を利用し、地域住民の健康増進と、仲間づくりを目的に、四クラブが結成され、総勢五百名の部員が活動しています。

すでに、二案内のように体育館門では、昨年9月からクラブ活動として体育館を利用し、地域住民の健康増進と、仲間づくりを目的に、四クラブが結成され、総勢五百名の部員が活動しています。

主な事業としては、春季部内大会、秋には球技祭を、また地域の皆様が自由に参加できる大会（卓球、あるいはバドミントン等）を計画しています。また、本年度は青少年のための行事を実施したいと考えており幅広い事業を展開して行きたいと思っておりますので皆様の協力をお願いいたします。

この欄をお借りしてクラブの一

催しもの案内

近隣センターを利用し、文化部の教室を表のとおり計画いたしました。

この機械にぜひご参加下さい。○申し込みは、表の受付日ですが、いずれの科目も午前10時からセンターで行いますので、費用を添えてセンターへ直接に、映画大会へどうぞ

センター体育館で次のとおり映画会を開催いたします。

科目	内 容	期 間	時 間	定 員	費 用	受 付
料理	① 日常の献立 ② 9月 10月 22,29日 / 5,19,26日 9月 10月 2,9,16,30日 / 7日	7月 8月 22,29日 / 5,19,26日	午前10時～正午	25名	2,500円	7月15日
茶道	お茶の心得	7月23日から隔週木曜日計10回			3,000円	7月15日
和裁	ゆかたの仕立	7月 8月 20,22,27,29日 / 3日			材料は各自持参	7月15日

「銀河鉄道999」 ○とき 7月17日（土）午後2時と同4時の2回上映 ○入場は無料、当日会場へ。なお、はきものを入れる袋、床に敷くもの等用意下さい。



卓球で汗を流すハッスルママさん達

文化部

文化部は、本年度、次のような予定を立てています。

第一に、「教室」を開催します。「教室」というのは、例えば料理教室、手芸教室のように、三十名程度の受講生を集め、講師を招聘して、いわゆる習いものをするものです。年間を通して行う長期的なもの、数回で終了する短期的なもの、とを考慮しています。早速この紙面の左上の「催しもの案内」で二案内いたしましたように、料理と茶道と和裁を開講いたします。教室は全部で七つ程作る計画を行きたいと思っております。

福祉部

福祉部は、心豊かな街づくりを推進するため、敬老会、ふれあいの集い等の行事に地域ぐるみ福祉活動の中心となる民生児童委員や関係諸団体の方々と一体となって協力してまいります。

また、福祉部としては、本年三月老人クラブ土支部の芸能大会を開催するとともに四月には、センターの開館一周年記念行事の一つとして体育館脇に完成した運動広場において各老人クラブから一チームづつの参加で、ゲートボール大会を開催いたします。

図書館

本との出会い

★地域資料を集めています。増尾、藤心、加賀などの地区について書かれたり、または、これらの地区に住んでいる方が書いた本、雑誌、新聞等をお持ちの方、ご存知の方は、ぜひ図書館まで連絡して下さい。サークル等の機関紙（誌）も集めています。

★図書は、住民の皆さんと本との出会いをお手伝いするだけではなく、人と人の出会いに際してもお手伝いしたいと考えています。たとえば、話し合い、読書会、共

★図書は、住民の皆さんと本との出会いをお手伝いするだけではなく、人と人の出会いに際してもお手伝いしたいと考えています。たとえば、話し合い、読書会、共

★図書は、住民の皆さんと本との出会いをお手伝いするだけではなく、人と人の出会いに際してもお手伝いしたいと考えています。たとえば、話し合い、読書会、共



私の出来ばえどうかしら。取扱いにも気をを使う自作品

センター年間利用状況(56.4~57.3)

種 目	人 数
会 議	3,834人
研 修 会	373
料 理	1,198
手 芸	790
民 謡・民 踊	766
俳 句 会	210
コ ー ラ ス	1,578
囲 碁・将 棋	387
映 画 会	1,650
公 民 館 事 業	1,263
運営委員会行事	3,206
そ の 他	3,224
バレーボール	5,427
バドミントン	4,489
卓 球	13,037
美 容 体 操	3,489
ス ポ ー ツ 教 室	355
そ の 他	850
合 計	46,126

岬句会

赤羽その子
藪中のつりがね草の風にゆれ
ひとりふたり通り過ぎたる螢と
ふ
沖山 爽子
飾りつけ待つ星の竹そよぎをり
金沢 久江
神輿発つ刻となりたる人出かな
小島奈良子
ほほづき市掛高き女かな
高柳 ふみ
大花火おわりを告げるつづきさ
中里 桂子
松葉牡丹色とりとり門の内
中谷 淳子
湿き切る畝間にすべりひゆ動し
七尾むつみ

あとがき

広報部は皆さまのグループ活動と近隣センターについて、感想文を募集しております。百五十文字原稿用紙は、センター受付に用意してありますのでご利用下さい。一周年を迎え、より充実してゆくセンター諸施設に負けないよう、広報「ふれあい」も文芸発表ばかりでなく、グループの情報交換の場として、皆様の投稿を期待しています。 広報部